

おまえざき

市議会だより

第48号

2016.10.11.12月

平成29年2月発行

- ① 議長あいさつ
- ② 12月議会定例会
- ③ 本会議質疑・委員会質疑・一般質問
- ⑤ 委員会報告
- ⑥ 議員視察研修



御前崎給食センター



浜岡給食センター

給食センター

御前崎給食センターは築35年、浜岡給食センターは築34年で老朽化対策の実施や衛生基準を満たすための人的負担が増大しています。新給食センターの建設を含め、新方式の衛生管理に対応できる施設改善が求められています。



議長 増田 雅伸

明けましておめでとうございます。

皆様方には、輝かしい新春をご家族お揃いで健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

日頃は御前崎市議会に対しまして深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、次期米大統領にトランプ氏が決まり今後の動向が注目されます。また、韓国、北朝鮮、中国、ロシアなど世界各国の動向にも関心が集まるところであります。

国内では、安倍内閣が高い支持率を維持し、外交を積極的に行うとともに、経済対策など重要施策に取り組んでいます。今後の経済活性化が望まれるところであります。

御前崎市では、昨年はリオ五輪400mリレーで飯塚翔太選手（池新田地区出身）の銀メダル、パラリンピック男子マラソンで岡村正広選手（比木地区出身）の銅メダル獲得に歓喜に湧いた年でもありました。

また、4月10日には市長・市議会議員選挙が行われ新市長が誕生し、市議会も新たな議員が加わり15名の議会構成のもと運営が行われています。

平成28年度からは平成37年度までの「第2次総合計画」がスタートし、また、人口ビジョンを踏まえた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」も実質的なスタートをしています。人口減少に歯止めをかけ、活力ある魅力のある御前崎市づくりを議会としてもしっかりと取り組んでまいります。

浜岡原子力発電所では新規規制基準に対応した安全性向上対策工事が、今年秋完成に向け進められております。

今後も多くの課題に対し、しっかりと取り組み、市民の皆様の期待に応えられるように議会の使命を果たしてまいります。

結びに、市民の皆様にとって今年がよい年でありますことを心からご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

12月議会定例会

12月定例会を11月28日から12月22日までの25日間の会期で開会しました。

■市議会12月定例会で審議した議案等

| 議案番号 | 件名 | 概要 | 審議結果 |
|--------|--|---|---------|
| 議案第66号 | 御前崎市部設置条例の一部を改正する条例の制定について | 平成29年度4月からの機構改革に伴う条例改正 | 全員一致で可決 |
| 議案第67号 | 御前崎市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 人事院勧告により、一般職及び特別職等の期末手当支給月数引上げに合わせ、市議会議員の期末手当支給月数を0.1月/年引上げるための条例改正 | 賛成多数で可決 |
| 議案第68号 | 御前崎市特別職の職員で常勤のもの給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 人事院勧告により、一般職の期末手当支給月数引上げに合わせ、特別職(市長、副市長)の期末手当支給月数を0.1月/年引上げるための条例改正 | 賛成多数で可決 |
| 議案第69号 | 御前崎市教育委員会の教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 人事院勧告により、一般職の期末手当支給月数引上げに合わせ、教育長の期末手当支給月数を0.1月/年引上げるための条例改正 | 賛成多数で可決 |
| 議案第70号 | 御前崎市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 人事院勧告により、若年層に重点を置きながら、俸給表の水準引上げ(平均0.2%)及び、勤勉手当の支給月数を0.1月/年引上げるための条例改正 | 全員一致で可決 |
| 議案第71号 | 御前崎市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 育児・介護休業法改正に伴う条例改正 | 全員一致で可決 |
| 議案第72号 | 御前崎市税条例の一部を改正する条例の制定について | 所得税法改正に伴う条例改正 | 全員一致で可決 |
| 議案第73号 | 御前崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について | 所得税法改正に伴う条例改正 | 全員一致で可決 |
| 議案第74号 | 御前崎市議会議員及び御前崎市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 公職選挙法改正に伴う市の選挙に係る公費負担基準額の改正 | 全員一致で可決 |
| 議案第75号 | 平成28年度御前崎市病院事業会計資本金の額の減少について | 資本金のうち10億円を減少し、利益剰余金に振り替え、うち4億3,087万9,094円を欠損金に振り替えるもの | 全員一致で可決 |
| 議案第76号 | 御前崎市公の施設に係る指定管理者の指定について(御前崎市民会館) | 指定管理者を「公益財団法人 御前崎市振興公社」に指定 | 全員一致で可決 |
| 議案第77号 | 御前崎市公の施設に係る指定管理者の指定について(御前崎市文化会館) | 指定管理者を「公益財団法人 御前崎市振興公社」に指定 | 全員一致で可決 |
| 議案第78号 | 御前崎市公の施設に係る指定管理者の指定について(御前崎市浜岡総合運動場) | 指定管理者を「公益財団法人 御前崎市振興公社」に指定 | 全員一致で可決 |
| 議案第79号 | 御前崎市公の施設に係る指定管理者の指定について(御前崎市御前崎運動場) | 指定管理者を「公益財団法人 御前崎市振興公社」に指定 | 全員一致で可決 |
| 議案第80号 | 御前崎市公の施設に係る指定管理者の指定について(御前崎市民プール) | 指定管理者を「公益財団法人 御前崎市振興公社」に指定 | 全員一致で可決 |
| 議案第81号 | 御前崎市公の施設に係る指定管理者の指定について(御前崎市B&G海洋センター) | 指定管理者を「公益財団法人 御前崎市振興公社」に指定 | 全員一致で可決 |
| 議案第82号 | 御前崎市公の施設に係る指定管理者の指定について(御前崎市ふるさと交流拠点施設) | 指定管理者を「有限会社 グランパークあささわ」に指定 | 全員一致で可決 |
| 議案第83号 | 人権擁護委員候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて | 人権擁護委員の候補者に大石せつ子氏(白羽地区)を推薦 | 全員一致で可決 |
| 議案第84号 | 静岡県市町総合事務組合規約の変更について | 三島市、裾野市、長泉町で構成する「富士山南東消防組合」を加える変更 | 全員一致で可決 |
| 議案第85号 | 平成28年度御前崎市一般会計予算の補正(第2号)について | 低所得の高齢者向け給付金や放射線防護対策工事費の増額など3億9,861万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を183億8千万円とする補正 | 賛成多数で可決 |
| 議案第86号 | 平成28年度御前崎市国民健康保険特別会計予算の補正(第1号)について | 高額療養費、国庫支出金返納金などに3,662万4千円を追加し、歳入歳出予算総額を44億3,662万4千円とする補正 | 全員一致で可決 |
| 議案第87号 | 平成28年度御前崎市介護保険特別会計予算の補正(第2号)について | 認定調査員賃金や過誤納還付金に300万円を追加し、歳入歳出予算の総額を26億2,202万8千円とする補正 | 全員一致で可決 |
| 議案第88号 | 平成28年度御前崎市農業集落排水事業特別会計予算の補正(第2号)について | 人件費16万円を追加し、歳入歳出予算の総額を3億2,791万円とする補正 | 全員一致で可決 |
| 議案第89号 | 平成28年度御前崎市下水道事業特別会計予算の補正(第2号)について | 人件費16万円を追加し、歳入歳出予算の総額を7億1,276万円とする補正 | 全員一致で可決 |
| 議案第90号 | 平成28年度御前崎市病院事業会計予算の補正(第2号)について | 3条予算の給与費など20万円増額し支出予算総額を49億1,220万円、4条予算の資産購入費を100万円増額し支出予算総額を6億3,050万円とする補正 | 全員一致で可決 |
| 同意第10号 | 御前崎市教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて | 教育委員会委員に下村 勝 氏(御前崎地区)を任命 | 全員一致で同意 |
| 報告第8号 | 御前崎まちづくり株式会社経営状況の報告について | 平成27年8月1日から平成28年7月31日までの決算報告で232万9千円の純損失を計上 | |

※決算の金額については千円未満は四捨五入してあります。

◆賛否が分かれた議案

| 議案番号 | 案件・結果 (賛成=○ 反対=×) | 議員名(議席順) | 河原崎恵士 | 渥美昌裕 | 櫻井勝 | 植田浩之 | 阿形昭 | 齋藤洋 | 松下久己 | 水野克尚 | 大澤博克 | 若杉泰彦 | 大澤満 | 増田雅伸 | 清水澄夫 | 杉浦謙二 | 阿南澄男 |
|--------|--|----------|-------|------|-----|------|-----|-----|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|
| 議案第67号 | 御前崎市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ※ | × | ○ | ○ |
| 議案第68号 | 御前崎市特別職の職員で常勤のもの給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ※ | × | ○ | ○ |
| 議案第69号 | 御前崎市教育委員会の教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ※ | × | ○ | ○ |
| 議案第85号 | 平成28年度御前崎市一般会計予算の補正(第2号)について | 可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ※ | × | ○ | ○ |

※議長は採決には加わりません。

本会議質疑

阿南澄男

【議案第66号について】

問 「効率的な組織体制を確立する」とはどのようなことか

答 本市では、人口減少対策、複雑・多様化する市民ニーズや新たな行政需要に的確に対応するため、政策・施策を戦略的に

展開できる組織体制が必要となっていきます。本年度、第2次総合計画に掲げた将来都市像実現のために、各分野で定めた基本目標に沿った「部」を配置し、目的志向型の行政組織とすることにより、行政活動の効率性や行政サービスの満足度を高めていきます。

委員会質疑

総務経済委員会

【議案第66号について】

問 部設置に関する組織課とエネルギー政策課が新設予定となっているが、その業務内容は

答 この条例が議決された後、行政組織規則などの改正を行いたいと考えています。現段階では、課並びに係、業務内容の詳細については精査されていないため、お答えできない状況です。

問 営繕関連業務はこれから増えていくと思われ。技術者の育成が必要になるが、人的配置はどのように考えているのか

答 建築に関する専門家の募集については、ここ何年か技術職の募集をしていますが、県からの人事交流派遣で土木職や技術職の派遣をお願いしていますが、県も職員不足で派遣が厳しい状況です。そのため、現職員のスキルアップを図り対応していきたいと思っております。

問 現在、事業部管理課部に移管する予定となっているが、その理由は

答 資産経営、公共施設マネジメントを今後推進していくという観点で、総務部に移管する予定です。

一般質問

13名が登壇 市政を問う
*この一般質問は12月8日と9日に行われたものです。

子供の医療費無料化について ヨウ素剤服用後の健康被害は国の責任で 活動層の存在が明らかに、原発の廃炉を求める



清水澄夫

問 市の少子化と人口減少は深刻だ。それに歯止めをかけるため、子供医療費を高校卒業まで完全無料化する考えは

答 県内の2町が高校生までの無料化を実施していますが、御前崎市においても、子育て支援のため、平成29年10月から高校生相

当年齢までの完全無料化を実施し、少子化と人口減少の抑制につなげていきたいと思っております。

問 ヨウ素剤全戸配布は「良かった」と評価されている。服用指示はどの時点で誰が出すのか。また、服用して健康被害が生

じた場合、誰が責任を持つのか

答 全面緊急事態に至った場合、原子力規制委員会の判断に基づき、国の原子力対策本部、または県・市が服用指示を出します。国からの指示に基づきヨウ素剤を服用し、健康被害が生じた場合は、国が責任を負うものと考えます。

市長の選挙公約について



阿南澄男

問 7つの公約中、「災害に強いまちづくり」について、29年度予算編成でどのような施策を考えているか

答 29年度もハード・ソフト両面で対策を進めていきたいと考えています。救援物資をスムーズに避難所へ配分するシステム構築については、先進地の事例などを参考に研究していきます。市民の皆様のご自

して、感震ブレイカー設置に対する補助を、2つ目は、家庭内の備蓄食料3日分相当を確保することを条件に、非常用持出袋購入に対する補助を行いたいと思っております。3つ目は、屋内で家具などの転倒による怪我を未然に防ぎ、安全に避難することを目的とした家具固定器具購入に対する補助制度について補助対象世帯を見直していきます。発生時の緊急避難対策だけではなく、復旧復興までの避難者の生活支援も含めた各種行動マニュアルの洗い出しを行い、緊急時に対応できる整備を推進していきます。今後も市民の生命財産を守るため、ハード・ソフト両面で防災力強化の充実を図り、「災害に強いまちづくり」を推進する考えです。

直虎・左馬助公による誘客PRについて 企業誘致事業について



渥美昌裕

問 直虎・左馬助公による誘客PRの取り組み状況と29年度に向けての施策は

答 各地区ウォーキングマップの原案ができつつあり、29年度予算に印刷費と看板設置工費を計上予定です。首都圏の旅行会社には、ツアーコースへの取り入れを働きかけています。商品開発については、左馬助公の名前を使つたランチなどを検討しています。今後は大河ドラマにあわせ、旧鈴木東洋先生宅をお借りして、「新野左馬助公展示館」を開館する予定です。

問 農業振興と農水畜産品のブランド化の成熟度は

答 農業法人や6次産業化を支援し、補助制度の拡大には、国県の補助に市単独費を上乗せする方を研究したいと考えています。メロンや牛肉、カツオなどの1次産品の認知度は必ずしも高いとはいえないと感じています。今後は、ふるさと納税返礼品への登録をお願いし、情報発信に努めていきます。

問 原発敷地周辺に活動層が見つかったと報道された。市長はこれに対し、どのように感じたか。また、地震によってH系断層は動かないと信じるのか



安定ヨウ素剤

答 私としては、あくまでも規制委員会の審査結果の報告を踏まえて考えていきたいと思っております。

補助制度の1つ目は、災害発生後の復電火災対策と



備蓄食料

制度的に画しています。また、課を新設すると職員が必要で、それぞれの担当課に十分な人員配置を必要があると思っております。



新野左馬助公展示館(旧鈴木東洋先生宅)

問 企業誘致事業における企業立地可能性調査の状況は

答 合戸・比木・新野の候補地の立地条件を現況下で再評価し、絞り込みを行っています。企業調査は市内9社、隣接市3社の訪問調査を行いました。29年度は企業導入施策を含めて企業ニーズ調査を実施する予定です。

交差点名標識について 保育・幼児教育の充実について



阿形 昭

問 シティプロモーション元年。市外の人にわかりやすい御前崎市にするため、信号機に付いている交差点名標識をもっと増やしたらどうか。地名の標識は、郷土愛を育むことになるのでは

では老朽化も進み、大規模改修や建て替えについて検討する時期にきています。移転や民営化を含め検討しているところです。

答 市内には交差点名標識が12カ所あります。市外の人にとって、交差点名標識が少なく、わかりにくいと感じる方もいると思います。

今後、観光客などの交流人口の増加や市内外への情報発信を考えると、交差点名標識の設置に限らず、市全体のサイン計画を検討する必要があります。

問 130人。現在の敷地や建物では、手狭ではないか。今後の計画は

園舎は昭和60年に建築され、市内の他園に比べて、広いとは言えません。園舎につ

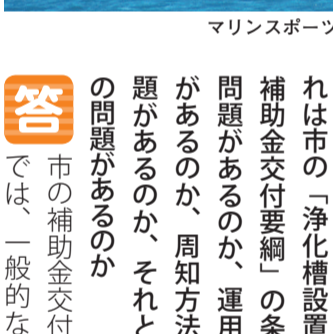
問 浜岡保育園は定員130人。現在の敷地や建物では、手狭ではないか。今後の計画は



交差点名標識

答 園舎は昭和60年に建築され、市内の他園に比べて、広いとは言えません。園舎につ

問 消防団における新入団員の加入者不足についての取り組みは



マリンスポーツ

答 既存制度については、雇用要件の緩和、雇用に対する補助額の増額、補助限度額の拡大など、充実を図っています。また、29年度より設備投資に対する補助制度を新設します。増設や雇用を伴わない設備更新も補助対象とし、市内企業の成長・発展に効果のある制度となるよう、検討を進めています。

地域活性化と交流人口の拡大について 消防団における新入団員の不足について 町内会長業務について



植田浩之

問 スポーツを絡めた地域の活性化と交流人口の拡大について、今後の考えは

強化に取り組んでいきます。

答 御前崎の魅力を発信できる人材の確保として観光プロデューサーを置き、観光宣伝を積極的に行います。また、御前崎ウオーターフロントにぎわい創出推進区域の施策を進め、マリナーパーク及び灯台周辺の整備、御前崎港客船誘致協議会による客船の誘致活動並びにスポーツと観光施設などをリンクさせ、交流人口の拡大につなげていきたいと考えています。

問 町内会長業務の煩雑化解消についての検討は

町内会長業務の煩雑さはもとより、地域の課題が煩雑化して個人や町内会での対応が難しくなっています。現在検討している公民館のあり方や運営方法や業務内容の整理などに併せて、町内会長業務の負担軽減ができるよう検討していきたいと思

自治基本条例の制定について 公共交通について 地域協働バスの今後について



杉浦謙二

問 市民憲章を具現化するために、御前崎市の自治基本条例を制定する考えは

種団体の意見をお聞きしながら、制定すべきかどうか研究していきたいと考えています。

答 自治基本条例は、地方公共団体の運営や基本的なルール、そしてまちづくりにおける市民、行政、議会の役割や責務などを規定したものです。

問 朝比奈、新野、比木地区で地域協働バスが活躍しているが、今後の対応は

地域協働バスの導入の趣旨は、地域にふさわしい持続可能な交通手段の実現、地域住民が組織

浄化槽設置事業補助金交付要綱について



齋藤 洋

問 併用住宅への合併処理浄化槽設置が遅れているように思えるが、これには市の「浄化槽設置事業補助金交付要綱」の条文に問題があるのか、運用誤りがあるのか、周知方法に問題があるのか、それとも別の問題があるのか

このことを踏まえ、他市の浄化槽設置補助に関する要綱も参考にしつつ、条文の読み方が解りにくい点につきましては、改正について検討しながら、また、以前に環境省より通達がありました合併処理浄化槽設置整備事業実施要綱につきましても、精査し研究をしていきたいと思

答 市の補助金交付要綱では、一般的な住宅である専用住宅以外にも店舗事業所などが併設され居住部分が2分の1以上ある併用住宅に対しても補助対象となっています。この併用住宅については、対象となる住宅が少ないこともあり、毎年、申請が年間1件程度となっています。しかしながら、市内の単独処理浄化槽を合併処理浄化槽へ転換し、より良い水質環境を目指すた

問 2才児未満の子供が入園中に、出産した場合の対応は

基本的な生まれつきの子供を、体調がすぐれないとか、双子の出産など特別な事情がある場合は、相談に応じています。

保育園の状況について ごみ袋について



櫻井 勝

問 保育士の確保、園の環境整備をどのように考えるのか

昨今の多様な社会環境を見ますと、単身世帯や夫婦2人世帯など少人数世帯が増加傾向にあり、確かに容量の少ない袋へのニーズがあることは十分認識しています。

答 保育士の確保が充分とはいえない状態ですが、子育て世帯のニーズにお応えできるようハローワークへの求人などで人材確保に努めています。

御前崎市の場合、管理組合が要綱に基づき指定袋を製造し、収集手数料は袋の販売代金に含んでいます。また、指定袋の種類を増やすことは、製造コストの増加になり、市民への費用負担が大きくなる可能性があります。そのため、今後、管理市である牧之原市と協議をしていきます。

企業立地について



水野克尚

問 電源地域の優位性を活用した企業誘致をどのように行うのか

ターゲットの1つとして、人工照明を使った完全閉鎖型の植物工場を想定しています。安全・安心と安定供給・安定価格

答 ターゲットの1つとして、人工照明を使った完全閉鎖型の植物工場を想定しています。安全・安心と安定供給・安定価格

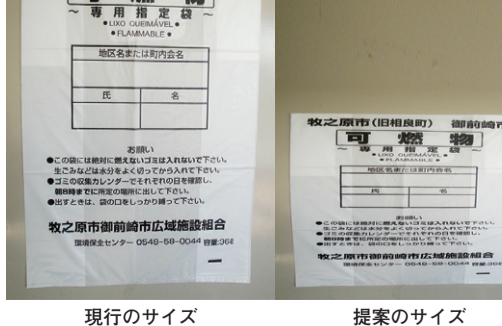
問 市内企業における設備投資や雇用拡大への対応は

既存制度については、雇用要件の緩和、雇用に対する補助額の増額、補助限度額の拡大など、充実を図っています。また、29年度より設備投資に対する補助制度を新設します。増設や雇用を伴わない設備更新も補助対象とし、市内企業の成長・発展に効果のある制度となるよう、検討を進めています。



合併処理浄化槽

問 既存の半分位のサイズのごみ袋が必要では



現行のサイズ

提案のサイズ



地域協働バス

子育て支援について



河原崎 恵士

問 産前産後のサポート体制についての考え

答 妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して総合的に相談支援を提供するワンストップ拠点として「子育て世代包括支援センター」の位置づけが法的になされたことをうけ、御前崎市においても産前産後の必要な支援やサービスをマネジメントする専門職の配置を行い、切れ目のない支援の充実に努めていきます。

問 高校生への通学に対する助成制度創設を含めた支援策についての検討は

答 義務教育課程において第一小学校の合戸地区児童に対して定期乗車券の交付、他校におけるスクールバス運行は実施していませんが、現時点では高校生を対象とした施策は検討していません。

問 給付型奨学金制度の創設についての取り組みは

問 御前崎市は地域公共交通が希薄な地域のため、自家用車が発達している。しかし、免許返納などにより、買い物や通院に困る市民が増加している。これからの地域公共交通をどのように考えているか

答 国の方向性の中で29年度は基礎調査をして、30年度に組織を立ち上げたいと思います。

生活交通の確保について 学校と地域の連携・協働について



若杉 泰彦

問 市内の園・小学校・中学校

答 市内の園・小学校・中学校

問 家庭や地域、行政で考えて解決に取り組んでいるが、その具体的な方法は

答 市内の園・小学校・中学校

問 市が実施してきた各種の交通弱者の対策は市全体のネットワーク整備になっていない。国の制度を活用し、総合的に考えたらどうか

答 市が実施してきた各種の交通弱者の対策は市全体のネットワーク整備になっていない。国の制度を活用し、総合的に考えたらどうか

答 市独自の制度は原資が税金で賄われることから創設は慎重にしなければならぬと考え、現時点では検討していません。国の制度について注視していき、制度のPRについて積極的に取り組んでいきます。



問 スクラムスクールを
実施して良かった点
と今後の課題は

答 運営協議会の中で保護者の発言が増えてきたこと、挨拶運動をPTA会長さん達が保育園、学校で進めてくれていることです。また、この活動を地域に広め、共に教育を進めることを考えたいと思います。

問 28年度に灯台周辺整備計画を策定しているが、日々、観光客が訪れている現状から、公衆トイレ整備の早期着手が求めら

答 区域は地域振興に資する施設であり、交流人口を増やす県指定の内陸フロントニア推進区域内にあり、御前崎ウォーターフロントにぎわい創出推進区域として、賑わいの創出を目指します。各施設の整備が必要となれば、みなとオアシスと連携して取り組んでいきます。



御前崎灯台

みなとオアシスについて 地方創生事業の現状について



大澤 満

問 みなとオアシスの認定区域は内陸フロントニア推進区域内にあり、認定オアシス区域にある海鮮なぶら市場・観光物産会館・マリンパークは、建設から20年余が経過している。施設の充実強化を図る考えは

答 区域は地域振興に資する施設であり、交流人口を増やす県指定の内陸フロントニア推進区域内にあり、御前崎ウォーターフロントにぎわい創出推進区域として、賑わいの創出を目指します。各施設の整備が必要となれば、みなとオアシスと連携して取り組んでいきます。

問 地域医療充実のため整備をしている家庭医療センター進捗状況は

答 既に建設工事の準備に入っており、平成29年の秋頃に完成する予定です。

で位置や仕様の変更も考えられますので、今後、関係者とよく検討していきたいと考えます。

問 地域医療充実のため整備をしている家庭医療センター進捗状況は

答 既に建設工事の準備に入っており、平成29年の秋頃に完成する予定です。

道徳の教科について



大澤 博克

問 小中学校の道徳教育は、平成30年以降「特別の教科・道徳」として、教科に格上げされることになるが、どのような教育内容になるのか

答 特別の教科・道徳の目標は、「より良く生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的価値についての理解を基に、

問 28年度に灯台周辺整備計画を策定しているが、日々、観光客が訪れている現状から、公衆トイレ整備の早期着手が求めら

答 区域は地域振興に資する施設であり、交流人口を増やす県指定の内陸フロントニア推進区域内にあり、御前崎ウォーターフロントにぎわい創出推進区域として、賑わいの創出を目指します。各施設の整備が必要となれば、みなとオアシスと連携して取り組んでいきます。

問 小中学校の道徳教育は、平成30年以降「特別の教科・道徳」として、教科に格上げされることになるが、どのような教育内容になるのか

答 特別の教科・道徳の目標は、「より良く生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的価値についての理解を基に、

問 小中学校の道徳教育は、平成30年以降「特別の教科・道徳」として、教科に格上げされることになるが、どのような教育内容になるのか

答 特別の教科・道徳の目標は、「より良く生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的価値についての理解を基に、

委員会報告

一般会計予算決算審査特別委員会

平成28年12月13日に委員会を開催し、付託された議案について、関係部課長から細部にわたり内容の説明を求め、慎重に審議した結果、原案のとおり可決すべきものとして決定しました。

なお、執行部に対し、次のような意見書を提出しました。

議案第85号 平成28年度御前崎市一般会計予算の補正(第2号)について

【こども未来課】
債務負担行為補正における「子育て応援手当システム構築業務委託料」の限度額2,790万円は、委員会として審議するにあたり比較検討すべき資料がないため、委員会に対しその正当性について、再度提出を求める。

原子力対策特別委員会

平成28年12月14日に委員会を開催しました。内容は次のとおりです。

中部電力(株)からの浜岡原子力発電所の状況について
(1) 発電所の力量向上に向けた取り組み(運転員) 発電所の全プラントの停止以降、発電部の運転員の技術向上のために、次のような力量向上に向けた取り組みに努めています。

- ① 他電力会社運転員との技術交流及び若手運転員の技能コンテストの実施
 - ② 火力発電所及び海外原子力発電所への派遣
 - ③ 安全性向上対策を反映したシミュレータ訓練
- (2) 地域の皆様とのコミュニケーションの状況について
東日本大震災以降、地域の皆様に信頼いただける発電所を目指し、次のような取り組みを実施しています。

- ① 発電所視察(見学会)
- ② 発電所モニター
- ③ 訪問対話
- ④ 発電所キャラバン隊
- ⑤ 意見交換会
- ⑥ 次世代層への教育支援活動

その他、公民館祭りや地域防災訓練への参加、HPなどによる情報発信、アンケート調査の実施を行っています。

以上、中部電力(株)から報告を受けました。



スクラムグッドマナー運動(あいさつ運動)

議員視察研修

文教厚生委員会視察研修

平成28年10月13日～14日

視察先及び視察内容

○参議院議員会館（東京都千代田区）

1 「子ども・子育て支援新制度」について、内閣府 子ども・子育て本部より説明を受けました。

2 「教育現場へのICT（情報通信技術）導入」に関する今後の国の方針・閣議決定等について、文部科学省生涯学習政策局情報教育課より説明を受けました。

○ベネッセ教育総合研究所（東京都新宿区）

「子育て世代総合支援」として、日本版ネウボラの必要性と課題、出産前後の母親支援など、当事者である母親を対象にした調査結果の紹介と提言の説明を受けました。

※ネウボラとは、フィンランドの妊娠から出産、子供が就学するまでを自治体が切れ目なくサポートする子育て支援施設のことです。



ベネッセ教育総合研究所にて

○NTTラーニングシステムズ(株)（東京都港区）

初等・中等教育分野の「教育の情報化」の実態に関する調査結果の最新の動向及び「ICTの可能性」について説明を受けました。その後、モデル教室において、タブレット端末と電子黒板をリンクさせて使用する授業を体験しました。



モデル教室にて模擬授業を体験

以上の研修結果を市政にどのように反映させるかが、今後の検討課題であると思います。

第10回原子力発電所立地議会サミット

平成28年11月10日～11日

研修会場及び内容

○品川プリンスホテル（東京都港区）

【メインテーマ】

「日本におけるこれからの原子力政策のあり方」
～原子力発電を将来世代にどう引き継ぐか～

【基調講演】

「わが国がとるべきエネルギー・環境政策」
（講師）NPO法人国際環境経済研究所 理事 竹内純子氏

【分科会】

- ・第1分科会 「福島原発事故の与えた自治体への影響と再生に向けての課題」
- ・第2分科会 「原発の再稼働と原子力防災体制の確立、安全対策の諸課題」
- ・第3分科会 「今後の原子力政策の方向性と次世代エネルギー政策の課題」
- ・第4分科会 「核燃料サイクルと放射性廃棄物の中間貯蔵・最終処分」
- ・第5分科会 「原子力発電所の廃炉計画と立地自治体の地域振興」

（株）東芝 磯子エンジニアリングセンター視察

平成28年11月11日

視察先及び視察内容

○（株）東芝 磯子エンジニアリングセンター（神奈川県横浜市）
ターボ（神奈川県横浜市）
ターボは、原子力施設設計を3次元CADで行っている東芝の原子力事業の中核拠点です。3次元CAD、遠隔口ボットなどを視察しました。

議事を傍聴しませんか？

- 市議会はどなたでも傍聴することができます。
- 事前予約は必要ありません。当日、市役所4階議会事務局へお越しください。

◎傍聴に来られない方も市議会の様子をご覧いただけます!!

◎本会議のLIVE中継が開始されました!!

本会議の内容は、おまえざきケーブルテレビの市民チャンネルのデジタル121チャンネルで放映されます。放送日については、その都度、音声告知放送にてお知らせします。

市民の皆様のお寄せください

議会だより作成や編集に役立てるため、議会だよりの感想をお聞かせください。郵送・ファックス・Eメールで受付します。

- ◇住所・氏名・電話番号を明記してください。
- ◇お便りの返却はいたしません。



あて先

御前崎市議会 議会広報特別委員会
〒437-1692 静岡県御前崎市池新田 5585
TEL : 0537-85-1115 / FAX : 0537-85-1139
E-mail : gikai@city.omaezaki.shizuoka.jp



2月定例会の予定

2月定例会は、2月20日（月）から3月23日（木）までの32日間の会期で開催される予定です。日程は、変更になる場合がありますので、事前に議会事務局（電話85-1115）までお問い合わせください。

- 2月 20日（月）本会議（議案説明）
- 3月 2日（木）本会議（質疑・一般質問）
- 3日（金）本会議（一般質問）
- 6日（月）総務経済委員会
- 7日（火）文教厚生委員会
- 8日（水）一般会計予算決算審査特別委員会
- 9日（木）一般会計予算決算審査特別委員会
- 10日（金）一般会計予算決算審査特別委員会
- 14日（火）特別委員会
- 23日（木）本会議（質疑・討論・採決）

議会の流れ

10月

- 4日 相寿園管理組合議会定例会
- 牧之原市御前崎市広域施設組合議会定例会
- 議会広報特別委員会
- 11日 文教厚生委員会視察研修（～14日）
- 13日 防衛省全国情報施設協議会要望活動
- 14日 西部地区市議会議長協議会
- 17日 議会広報特別委員会
- 18日 一般会計予算決算審査特別委員会
- 19日 第11回全国市議会議長会研究フォーラム静岡（～20日）
- 21日 議会全員協議会
- 25日 一般会計予算決算審査特別委員会
- 26日 議会広報特別委員会
- 28日 全国市議会議長会基地協議会東海部会定期総会（～27日）
- 中東遠看護専門学校組合議会定例会

11月

- 1日 静岡県市議会議長会定期総会（～2日）
- 7日 中東遠地区市議会議長協議会
- 8日 議会運営委員会
- 10日 志太様原5市2町議会議長連絡協議会議員研修会
- 10日 第10回全国原子力発電所立地議会サミット（～11日）
- 21日 議会全員協議会
- 22日 一般会計予算決算審査特別委員会
- 22日 議会運営委員会
- 25日 全国原子力発電所所在市町村協議会全体会議
- 28日 12月議会定例会本会議（初日）

12月

- 5日 御前崎市牧之原市学校組合議会定例会
- 8日 12月議会定例会本会議（質疑・一般質問）
- 9日 12月議会定例会本会議（一般質問）
- 12日 総務経済委員会
- 12日 文教厚生委員会
- 13日 一般会計予算決算審査特別委員会
- 14日 総合開発計画策定特別委員会
- 20日 原子力対策特別委員会
- 20日 議会運営委員会
- 22日 12月議会定例会本会議（最終日）
- 議会全員協議会
- 一般会計予算決算審査特別委員会

特別委員会

- 委員長 若杉泰彦
- 副委員長 河原崎恵士
- 委員 渥美昌裕
- 委員 櫻井勝
- 委員 植田浩之